

第6次松崎町総合計画 令和5年度事業評価総括表

「この1年間の取り組み」の5段階評価結果

(評価基準)

- A：目標を上回るものだった
- B：目標は達成できた
- C：目標は概ね達成できた
- D：目標に達しない取り組みが多かった
- E：ほとんど目標を達成できなかった

| | A | B | C | D | E | 計 |
|-------|---|----|----|---|---|----|
| 総務課 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 5 |
| 企画観光課 | 0 | 13 | 5 | 1 | 0 | 19 |
| 産業建設課 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 |
| 健康福祉課 | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 12 |
| 窓口税務課 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 生活環境課 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 教育委員会 | 1 | 1 | 7 | 5 | 0 | 14 |
| 計 | 1 | 26 | 24 | 6 | 0 | 57 |

目標指標

| | 目標(R9) 達成 | 現状値を 上回った | 現状維持 | 現状値を 下回った | 計 |
|-------|--------------|--------------|------|--------------|----|
| 総務課 | 1 | 0 | 1 | 2 | 4 |
| 企画観光課 | 1 | 3 | 2 | 3 | 9 |
| 産業建設課 | 0 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| 健康福祉課 | 5 | 0 | 0 | 1 | 6 |
| 窓口税務課 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 生活環境課 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 教育委員会 | 0 | 4 | 2 | 2 | 8 |
| 計 | 8 | 10 | 5 | 10 | 33 |

※スマートフォン利用率は総合計画策定時のアンケート調査結果に基づく指標で毎年度の評価はできない

第6次総合計画 実施計画 【令和5年度】事業評価一覧

「評価欄」この1年間の取り組みの評価（計画に掲げた施策（目標）に対して、この1年間でやるべきことができたかどうか）

A：目標を上回るものだった B：目標は達成できた C：目標は概ね達成できた D：目標に達しない取り組みが多かった E：ほとんど目標を達成できなかった

単位：千円

| 章 | 節 | 番号 | 主要施策名 | 事業概要 | この1年間でできたこと | 評価 | 今後の展開(力点) | 令和5年度事業費 | | 財源内訳 | | | | | |
|--------------------|----------------|----------------------------|---|--|--|---|--|---|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|
| | | | | | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 町債 | その他 | 一般財源 | | | |
| I | 第1節 危機管理体制の強化 | ① | 災害に対する対応 (総務課) | 各種ライフラインの復旧や住民の避難に関する団体との災害復旧のための取り決めについて、事前に協定を締結することにより、発災時において、復旧作業や住民避難について早期に対応がとれる環境を整備しておく。また、発災時の各自の避難計画となる「私の避難計画(マイタイムライン)」の策定を促進する。 | 5年度は、遺体収容所等に関連する協定を4件締結しました。 また、アクションプログラムの見直し、アクションプログラム2024を策定しました。住民に対しては、年3回の訓練のほか、自主防災会長および各地区防災委員に対し、研修会を開催し、防災意識の向上に努めました。 | B | ・R6年度に、遺体収容所運営訓練を行ないます。 ・地域防災計画の全体的な見直しを図るため、防災会議を開催します。 ・健康福祉課において、個別避難計画の作成が進んでいくよう、必要な支援等を行なっていきます。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 差引増減 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 1P～ | ② | 防災対策の推進 (総務課) | 南海トラフ地震等による津波災害に備えるため、津波避難地区内に3基の津波避難タワーを整備する。現在は西区地内に1基整備されているが、津波避難が困難な地域に2基の津波避難タワーを整備する。鮎川地区内に防災公園を整備しその中にヘリポートを整備する。 | R5年度に、南区から津波避難タワー建設要望書が提出され、建設候補地の選定が開始されました。 町の災害備品に関しては、ポータブル電源や車椅子トイレ、非常用給水タンク等を購入しました。 備蓄食料は新たに9,900食購入して48,688食に、飲料水は新たに3,000リットル購入して21,415リットルとなりました。 | C | ・R6年度には、津波避難タワーの建設予定を決定し、関係者や住民との協議等を行い、計画的に進めていきます。 ・備蓄食料・飲料については、計画的に備蓄数を増やし、目標値を目指していきます。 ・防災公園の整備について、整備スケジュールを組んで、計画的に進めていきます。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 差引増減 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 第2節 消防・救急体制の強化 | ① | 消防体制の強化 (総務課) | 各小隊が昼間でも活動できるよう人員の確保を進めるとともに、分団、小隊の再編や見直しを検討する。また、各種の消防資機材を導入し、発災時には消防団として対応できる体制を築いていく。 | R5年度は、ホースや防火服等の資機材を整備しました。 人員の確保においては、消防団条例を改正し、R6年度以降の団員の定年を廃止しました。 また、小隊の編制の話も上がってきていましたが、今後協議を行なって予定となっています。 | C | 必要な資機材の整備を行ないます。また、人員の確保に当たっては、小隊編成の協議を進めていきます。 | 計画 | 12,283 | 0 | 3,877 | 6,000 | 2,406 | 0 | |
| | | | | | | | | 実績 | 2,651 | 0 | 866 | 0 | 1,785 | 0 | |
| | | 差引増減 | | | | | | | | △ 9,632 | 0 | △ 3,011 | △ 6,000 | △ 621 | 0 |
| | | 7P～ | ② | 応急手当に関する技術の普及啓発 (総務課) | 救急救命講習会の開催 応急手当の講習会の開催 AEDの公共施設等への導入 | R5年度において、普通救命講習を開催し、56名の団員に受講していただきました。応急手当などについては、各自自主防災組織でも取り組んでいただいています。 | C | 消防団員以外にも応急手当を学んでいただけるよう、講習等の周知を行なっていきます。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 実績 | | | | | | | | 61 | 0 | 20 | 0 | 41 | 0 | |
| | 差引増減 | | | | | | | | 61 | 0 | 20 | 0 | 41 | 0 | |
| 第3節 地域福祉の充実 | ① | きょうどうで進める (健康福祉課) | ボランティア活動及び居場所づくりの推進。 | ボランティア団体による月1回の配食サービス、毎日給食サービスなどを通じ、利用者と実施者のコミュニケーション、見守りを実施するなど事業者だけでなく地域での協力の輪を創出できた。 | B | より柔軟で魅力のある地域活動を創出するため、ボランティア活動団体への支援等を実施したい。 | 計画 | 19,829 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19,829 | | |
| | | | | | | | 実績 | 30,036 | 0 | 0 | 0 | 30,036 | | | |
| | 差引増減 | | | | | | | | 10,207 | 0 | 0 | 0 | 10,207 | | |
| | 13P～ | ② | 多様な人の参加 (健康福祉課) | 松崎町シルバー人材センターへの補助や認知症サポーター養成講座の開催。 | シルバー人材センターの安定的な運営を支援することにより、退職者世代の技術や知識を活かす活躍の場の提供を実施することができた。 また、若年世代の福祉意識の向上のため福祉教育の一環として認知症サポーター養成講座を実施した。 | B | 退職者世代の地域での活躍の場を継続して提供するため引き続きシルバー人材センターへの支援を実施する。 | 計画 | 2,030 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,030 | |
| 実績 | | | | | | | | 2,011 | 0 | 0 | 0 | 2,011 | | | |
| 差引増減 | | | | | | | | △ 19 | 0 | 0 | 0 | △ 19 | | | |
| 第4節 高齢者福祉の充実 | ① | 保健事業と介護予防の一体的実施 (健康福祉課) | 地区サロンや地域社会活動などへの積極的な参加を促すとともに、家庭訪問を受けた生活改善や必要なサービスへの接続、健康診査(特定健診)受診者の増加を目指した受診勧奨、保健指導による重度化防止を行う。 | ・県健康増進課職員も含めた連携調整会議を開催(8月22日、9月21日)。 ・介護認定者の有病状況、医療費や健診受診状況等の分析結果から松崎町の健康課題を整理し、アプローチすべき事項を決定。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る基本方針、実施計画書を策定。 令和6年度からの事業開始に向けた事前準備をすべて完了できた。 | B | 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る基本方針、実施計画書に係る基本方針、実施計画書の策定、実施に係る関係機関との連携等について、関係機関と協議を実施する。 | 計画 | 70 | 17 | 8 | 0 | 35 | 10 | | |
| | | | | | | | 実績 | 15 | 4 | 2 | 0 | 7 | 2 | | |
| | 差引増減 | | | | | | | | △ 55 | △ 13 | △ 6 | 0 | △ 28 | △ 8 | |
| | 19P～ | ② | 地域包括ケアシステムの構築 (健康福祉課) | 医療・介護・介護予防・住まい・生活支援サービスの充実を図るため、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築していく。 ・医療体制の整備 ・生活支援サービスの充実 等 | ・第9期介護保険事業計画を策定。 ・医療機関への委託により、他職種による研修、情報共有をした。松崎西伊豆管内では8月7日、3月18日に連携会議を開催。役場、地域包括支援センター、医療機関、介護施設、薬局、賀茂健康福祉センターなどが出席した。 ・地域包括ケアについて他市町の事例や、研修への参加などで情報を収集した。 | C | 地区サロンや地域社会活動などへの積極的な参加を促進する。 重度化防止のための取り組みと生活支援や介護保険サービスの充実を合わせ、必要なサービスに接続する。 | 計画 | 4,511 | 552 | 276 | 0 | 329 | 3,354 | |
| 実績 | | | | | | | | 3,966 | 413 | 206 | 0 | 247 | 3,100 | | |
| 差引増減 | | | | | | | | △ 545 | △ 139 | △ 70 | 0 | △ 82 | △ 254 | | |
| 第5節 障がい者福祉の充実 | ① | 意識啓発の推進 (健康福祉課) | 各種福祉団体のPR、企業や行政機関による障害者などの役に立つ情報の提供などを行うことで、一般住民と関係団体の交流の場とする。 | 障害者自立支援協議会地域移行部会が開催した研修に参加し、精神障害者の地域移行に関する課題の確認、病院からの退院を促進するための他市町の事例等について検討した。 施設入所者の地域移行ではないが、病院からの地域移行支援を実施し、1名について病院からの退院を支援した。 | C | 施設入所者等の地域移行については継続して取り組み、他市町の事例等を参考にしながら地域移行しやすい支援体制の確保に努める。 福祉意識の啓発については、社会福祉協議会を中心に関係機関との連携を図り、ふれあい広場に変わる福祉意識の啓発方法、イベントなどを検討する。 | 計画 | 362 | 0 | 0 | 0 | 0 | 362 | | |
| | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 差引増減 | | | | | | | | △ 362 | 0 | 0 | 0 | △ 362 | | |
| | 25P～ | ② | 地域における生活支援体制の充実 (健康福祉課) | 自立支援給付(訪問系や日中活動系、居住系のサービス)や医療費助成、補装具の支給などを行う。 | 身体障害・知的障害・精神障害の各専門事業所に相談業務の委託を実施し、相談支援体制の確保を実施した。 発達障害等の支援については、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所等を紹介し、現状の地域資源の中で相談者にあった事業所等に繋げることができた。 | C | 相談支援体制の確保、児童発達支援事業所等との連携を図り、保護者の育児不安の軽減や障害児でも住みやすい体制の確保に努める。 | 計画 | 154,529 | 75,830 | 37,915 | 0 | 0 | 40,784 | |
| 実績 | | | | | | | | 163,726 | 81,207 | 40,603 | 0 | 0 | 41,916 | | |
| 差引増減 | | | | | | | | 9,197 | 5,377 | 2,688 | 0 | 1,132 | | | |
| 第6節 保健・医療体制の充実 | ① | 成人保健の充実 (健康福祉課) | がん検診等は医療機関等に委託し実施。 特定健診の結果から、高血圧、糖尿病、脂質異常症、腎不全、メタボリックシンドロームに該当する者について個別指導を行うことで重症化予防を図る。 | ・検診スタート年齢となる40歳の方へ受診勧奨の案内通知を送付。検診車で地区を回る検診では胃がん、肺がん、大腸がんを、健康改善センターで実施する特定健診では、肺がん検診・大腸がん検診・特定健診を、健康改善センターのスタッフが検診し検診結果を伝えている。また、区長や保健委員が検診し、地区住民への検診受診の呼びかけを依頼した。要精密検査未受診者の1度目の受診勧奨を賀茂医師会へ委託し、それでも受診しない方へは再度受診勧奨の通知を実施した。 ・業者に委託し、特定健診会場で1度以上(140/90)以上 | B | がん検診や特定健診の受診率の向上と、特定健診の事後指導や事後教室等の充実に重点を置き実施していく。 | 計画 | 12,630 | 904 | 0 | 0 | 0 | 11,726 | | |
| | | | | | | | 実績 | 8,025 | 0 | 0 | 0 | 8,025 | | | |
| | | | | | | | 差引増減 | | | | | | | | △ 4,605 |
| | 31P～ | ② | 母子保健の充実 (健康福祉課) | 妊娠期からの継続的な相談や訪問、健診や教室を実施し、子どもの健全な成長の支援と相談しやすい環境を作る。また、学校等と連携した食育の実施や食育連絡会での情報交換により、健康な食生活の確立のための連携を図る。 | ・業者に委託し子育て支援アプリを創設。予防接種や健診のプッシュ通知、子育てに関する情報発信を行った。西伊豆町と合同実施している産後教室は、松崎町からの参加者がいるため、令和6年度に向けて児童館事業の中での実施や業者委託を検討した。 ・管理栄養士が小学校へ出向き、食育の講話を実施。食推進においても幼稚園・保育園で出汁の取り方等の実技を伝え、減塩・食育の講話を実施した。 ・幼稚園・保育園、小・中学校、高校の栄養士や保健指導等のメンバーで食育連絡会を実施し、町の健康課題を共有し、課題解決に向けた取組など共有し | B | 妊娠期からの相談体制の充実重点を置き実施していく。 | 計画 | 19,058 | 422 | 3,309 | 0 | 0 | 15,327 | |
| | | | | | | | | 実績 | 14,439 | 398 | 3,264 | 0 | 0 | 10,777 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | | | | | | | |
| 37～38P | ③ | 保健医療体制の充実 (健康福祉課) | 予防接種は医療機関に委託し個別接種を実施。賀茂圏域内外の医療機関と連携し接種率向上につなげる。 医療提供体制の充実を図るため、巡回診療や訪問診療等の検討をする。 | ・定期予防接種の対象者へ接種勧奨の個別通知、ホームページやお知らせ版に掲載し、周知した。令和6年度からの定期接種の変更点(コロナなど)等、委託先の賀茂医師会と協議を実施した。また、任意接種の帯状疱疹ワクチンの助成開始に向け検討した。 ・賀茂地域医療構想調整会議において、へき地拠点病院における巡回診療等の必要性について説明した。 | C | 医療体制の方針を検討・決定していく。 | 計画 | 15,539 | 143 | 0 | 0 | 0 | 15,396 | | |
| | | | | | | | 実績 | 11,707 | 169 | 0 | 0 | 0 | 11,538 | | |
| | | | | | | | 差引増減 | | | | | | | | △ 3,832 |
| 第7節 人権尊重・LGBTQ+の推進 | ① | 女性登用の機会拡大 (教育委員会) | 松崎町男女共同参画プランの推進 | 取組について「あざれあ」と情報交換を行うと共に、中学・高校での男女共同参画をテーマにした授業を開催した。 | D | 防災面での取組において、「男女共同参画」の意識が高いことから、こちらを重点的に対応していきたい。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | | 差引増減 | | | | | | | | 0 |

第6次総合計画 実施計画【令和5年度】事業評価一覧

「評価欄」この1年間の取り組みの評価（計画に掲げた施策（目標）に対して、この1年間でやるべきことができたかどうか）
 A：目標を上回るものだった B：目標は達成できた C：目標は概ね達成できた D：目標に達しない取り組みが多かった E：ほとんど目標を達成できなかった

単位：千円

| 章 | 節 | 番号 | 主要施策名 | 事業概要 | この1年間でできたこと | 評価 | 今後の展開(力点) | 令和5年度事業費 | | 財源内訳 | | | | | |
|----------------------|-----------------|--------|---------------------------------|--|---|---|---|---|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|
| | | | | | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 町債 | その他 | 一般財源 | | | |
| Ⅱ | 第1節 子育て支援の充実 | ① | 子育て支援の充実 (健康福祉課) | 奨学金貸付や教育資金利子補給、出産祝い金と子育て支援祝い品の支給。また放課後児童クラブの実施などを行う。 | 子育て世帯の経済的負担軽減のため、教育資金利子補給や奨学金貸付など事業を継続して実施した。また、子育て世帯の心身の負担軽減のため、放課後児童クラブの開所時間の延長に取り組んだ。 | C | 教育資金利子補給や奨学金貸付事業の更なる周知を図る。 | 計画 | 14,399 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,399 | |
| | | | | | | | | 実績 | 8,349 | 0 | 0 | 0 | 8,349 | | |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 6,050 | 0 | 0 | 0 | △ 6,050 | | |
| | | 43P～ | ② | 子どもを産み育てやすい環境づくり (健康福祉課) | 年度内30万円、通算5年度を限度とし、不妊治療に要した額を全額補助する。妊娠届時より、出産・育児等に関する相談や情報発信等の支援と共に、経済的負担軽減のため、計10万円相当の支援金も支給する。 | 不妊治療費助成については実績2件。業者委託し子育て支援アプリを創設。予防接種や健診のプッシュ通知、イベントなど子育てに関する情報発信を行った。また、保健師による妊娠届出時と新生児訪問時に併走型相談支援を行い、出産子育て応援交付金の交付を行った。 | B | 児童館事業や保健師による相談支援体制の充実、出産子育て支援アプリの登録を推進し、情報発信等を充実することによる子育て支援の充実を図る。 | 計画 | 2,900 | 1,333 | 333 | 0 | 0 | 1,234 |
| | | | | | | | | | 実績 | 1,209 | 667 | 141 | 0 | 0 | 401 |
| | | | | | | | | | 差引増減 | △ 1,691 | △ 666 | △ 192 | 0 | 0 | △ 833 |
| | | 49～50P | ③ | 保育サービスの充実 (健康福祉課) | 保育事業の実施。 | 保育園において継続して延長保育の実施を行うなど保育内容の充実を図った。また、児童館における一時預かり事業については、より利用しやすいように回数制から時間制に改正した。 | C | 延長保育の継続実施、交流の場の創出に取り組む。 | 計画 | 73,747 | 31,024 | 17,012 | 0 | 2,088 | 23,623 |
| | | | | | | | | | 実績 | 69,314 | 28,888 | 12,715 | 0 | 1,732 | 25,979 |
| | | | | | | | | | 差引増減 | △ 4,433 | △ 2,136 | △ 4,297 | 0 | △ 356 | 2,356 |
| | 第2節 子ども・若者支援の充実 | 51P～ | ① | 地域環境づくりの促進 (教育委員会) | 「21世紀松崎町3つの実践運動」及び「地域の青少年声掛け運動」の周知と活動推進 | 「3つの実践運動」を区長会で説明し協力を得るなど、周知に努めた。 | C | 「3つの実践運動」を継続すると共に、古くからいる地域住民への周知看板などの再整備を行っている。 | 計画 | 600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 600 |
| | | | | | | | | | 実績 | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500 |
| | | | | | | | | | 差引増減 | △ 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 100 |
| | | 55～56P | ② | 青少年活動の促進 (教育委員会) | 活動補助金の交付(野球、サッカー、ソフトテニス、バレーボール) | 既存の事業を展開することと合わせ、ウェルネスまつき種目間の連携をとり、効率よく施設を活用し事業実施できるよう配慮した。 | B | 現在熱を帯びているウェルネスの活動を引き続きバックアップしていくとともに、スポーツ少年団の支援強化、子どもが少なくなっている中でのスポーツ団体のあり方を検討していく。 | 計画 | 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200 |
| | | | | | | | | | 実績 | 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200 |
| | | | | | | | | | 差引増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 第3節 幼児教育の充実 | 57P～ | ① | 家庭教育支援の充実 (教育委員会) | 幼児教育アドバイザーの活用 保育園と幼稚園の交流 幼小の架け橋期の連携 | 幼児教育アドバイザーを講師に招き、保護者を対象とした講演会を実施した。また、幼児教育アドバイザーの助言の元、「幼小の架け橋期の連携」として学校訪問を行った。 一貫研に代わるものとして、保幼小中高特支の先生方を繋ぐ「先生大集合」に取り組んだ。 | C | 『家庭支援の充実』については、現在の取組みを継続する。 | 計画 | 350 | 0 | 0 | 0 | 0 | 350 |
| | | | | | | | | | 実績 | 216 | 0 | 0 | 0 | 0 | 216 |
| | | | | | | | | | 差引増減 | △ 134 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 134 |
| 61～62P | | ② | 子育て支援活動の充実 (教育委員会) | 預かり保育 防災訓練(園児訓練及び職員訓練) | 預かり保育を拡充すると共に、保護者のニーズ調査等を行い子育て支援に資する取組みを行った。 | C | 『子育て支援活動の充実』においては、収集したニーズを反映できるような取組みを展開していく必要がある。 | 計画 | 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | |
| | | | | | | | | 実績 | 1,177 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,177 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | 177 | 0 | 0 | 0 | 0 | 177 | |
| 第4節 学校教育の充実 | 63P～ | ① | 地域と連携した教育内容の充実 (教育委員会) | 地域学校協働本部事業 | 地域と学校の接点を強化することを目的に、「先生大集合」の体験メニューを行うことでまずは先生方に松崎をそして地域を知ってもらう事に努めた。幼保へのALT派遣日数を増やし、外国語や外国人にふれあう機会を増加させた。 GoogleWorkspaceやAidRilを導入するなどICT教育に力を入れ、タブレットの活用機会の増加を図った。 | C | 中学生による「ふるさとガイド」などに取り組み郷土を学ぶ等、地域学習の機会を増やしていく仕組みを準備していく | 計画 | 1,250 | 300 | 300 | 0 | 0 | 650 | |
| | | | | | | | | 実績 | 611 | 164 | 164 | 0 | 0 | 283 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 639 | △ 136 | △ 136 | 0 | 0 | △ 367 | |
| | 67～68P | ② | 教育環境の整備 (教育委員会) | 学校給食共同調理場建築 | GoogleWorkspaceのChat機能を使い、様々な連絡を密に取ることにより学校とのコミュニケーションを図った。 共同調理場は、実施設計が完了しR6発注する準備が整った。 | C | 『先生大集合』を継続することで、町内教育関係者のコミュニケーション強化を図っていく | 計画 | 63,000 | 0 | 0 | 10,300 | 46,874 | 5,826 | |
| | | | | | | | | 実績 | 56,155 | 0 | 0 | 9,600 | 0 | 46,555 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 6,845 | 0 | 0 | △ 700 | △ 46,874 | 40,729 | |
| 第5節 生涯学習とリカレント教育の充実 | 69P～ | ① | 生涯学習活動の促進 (教育委員会) | 生涯学習講演 | 住民ニーズの把握といった情報収集や、「生涯学習」と「リカレント教育」の棲み分けなどの整理に取り組んだ。 学びの場の開催は、数回に留まった。 | D | 住民ニーズに基づいた定期的な講座開催に向けて取り組んでいく | 計画 | 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 200 | |
| | | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 200 | |
| | | 73～74P | ② | 関係機関との連携の促進 (教育委員会) | 2030松崎プロジェクト 総合的学習(外部講師) | 町長部局と連携し、歴史学講座や生涯学習講演会等を企画開催した。 | C | 庁内他課と連携を密にすると共に、関係各所の力を借りながら効果的な講座等を企画展開していく必要がある | 計画 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| | | | | | | | | | 実績 | 63 | 0 | 0 | 0 | 0 | 63 |
| | | | | | | | | | 差引増減 | △ 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 37 |
| | 75～76P | ③ | リカレント教育の促進 (教育委員会) | 大学連携、企業連携 | 社会教育委員会などの場も借りて、住民のニーズ把握に努めた | D | 住民ニーズを把握し、社会教育委員会等の協力を仰ぎながら企画展開していく | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 第6節 スポーツ・レクリエーションの振興 | 79～80P | ① | スポーツ・レクリエーション参加意識の高揚 (教育委員会) | スポーツ講演会 体育施設維持管理 史跡めぐりウォーキング等 | 新たな委員3人を迎え6人の委員を中心に啓発活動を行った。 R5年度は、他市町のスポーツ推進委員を対象としたストレッチ体操を行うなどの活動を実施した。 | C | 町の事業が減っていることもあり、スポーツ推進委員の役割が少なくなっている。ニュースポーツの研究などスポーツ推進委員を中心に取り組みたい。また、体育協会や既存のスポーツ愛好団体と連携し、町民のスポーツ参加者の増加を図る。 | 計画 | 1,950 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,950 | |
| | | | | | | | | 実績 | 1,843 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,843 | |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 107 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 107 | |

第6次総合計画 実施計画【令和5年度】事業評価一覧

「評価欄」この1年間の取り組みの評価（計画に掲げた施策（目標）に対して、この1年間でやるべきことができたかどうか）
 A：目標を上回るものだった B：目標は達成できた C：目標は概ね達成できた D：目標に達しない取り組みが多かった E：ほとんど目標を達成できなかった

単位：千円

| 章 | 節 | 番号 | 主要施策名 | 事業概要 | この1年間でできたこと | 評価 | 今後の展開(力点) | 令和5年度事業費 | | 財源内訳 | | | | | |
|--------------|---------------------------|--|---|---|--|--|---|----------|----------|---------|-------|--------|----------|---------|---------|
| | | | | | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 町債 | その他 | 一般財源 | | | |
| Ⅲ | 地域に根付いた産業が育まれ、経済がにぎわまちづくり | 第1節 観光の振興 | ① 体験型観光の推進 (企画観光課) | ・体験事業のニーズ把握・新規体験メニューの創出 ・ホームページ等を活用した情報発信 ・教育旅行の誘致 ・事務局の体制整備の強化 | 松崎町グリーンツーリズムインストラクター育成スクールの開催。体験型観光に意欲のある19名(内松崎町在住11名)が受講し、インストラクター認定者となった。他にも、「ホテル観賞モニターツアー」や「草花染めワークショップ」など、地域資源の発掘を行うと共に、新規体験プログラムの開発に取り組んだ。教育旅行の受け入れは4校で、合計220名の宿泊利用があった。 | B | 積極的に教育旅行を誘致したいところはあるが、受け入れ先の減少、事務局予算の縮小により、積極的に教育旅行を営業することが難しい状況。教育旅行は、固定客の確保を軸としつつ、新たなグリーンツーリズムの事業を模索する。 | 計画 | 7,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,000 | |
| | | | | | | | | 実績 | 6,474 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,474 | |
| | | 83～84P | | | | | | | 差引増減 | △ 526 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 526 |
| | | 81P～ | ② 町営観光施設の活用促進 (企画観光課) | ・町有観光施設の維持・修繕 ・道の駅花の三聖苑の整備活用 ・旧依田邸の文化財保存及び整備活用 | 道の駅花の三聖苑では、天城山房のメニューの見直しを行い、地元の産品を使った商品の開発や依田家とのつながりを感じさせる大沢地区ならではの食事を提供し、PRに努めた。大沢温泉依田之庄については、アサギマダラの飛来を呼び込む話題提供や「オープン2周年記念日」「ふろの日に」、三聖苑と共同イベントを組み販促の創出を図った。 | C | 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、外出制限がなくなったことから、道の駅の利用人数は回復傾向にある。道の駅を起点とした大沢地区を中心とした町内回遊への打ち手を開発したい。 | 計画 | 33,600 | 0 | 8,000 | 11,500 | 0 | 14,100 | |
| | | | | | | | | 実績 | 34,626 | 0 | 7,900 | 10,200 | 4,900 | 11,626 | |
| | | 85～86P | | | | | | | 差引増減 | 1,026 | 0 | △ 100 | △ 1,300 | 4,900 | △ 2,474 |
| | 第2節 農林漁業の振興 | ① 農業の振興 (産業建設課) | 1町内で担い手等関係者と協議をし、地域の将来の農業の在り方を協議して集約等も踏まえた目標地図を作成していく。 2桜葉振興会への補助金、支援学校との農福連携等 3有害獣等被害防止対策事業補助・有害鳥獣捕獲報奨金等 | 1町内で担い手等関係者と協議をし、地域の将来の農業の在り方を協議して集約等も踏まえた目標地図を作成していく。 2桜葉振興会への補助金、支援学校との農福連携等 3有害獣等被害防止対策事業補助・有害鳥獣捕獲報奨金等 | C | 今後も就農者等の担い手の確保、農地の維持管理の推進、物産展などでの地場産品のPRや加工品の商品化などによる販路の拡大活動を通して農業の振興を図っていく。 また、鳥獣害対策を充実させ、農業を守る活動の推進も併せて図っていく。 | 計画 | 7,272 | 300 | 0 | 0 | 0 | 6,972 | | |
| | | | | | | | 実績 | 3,788 | 23 | 0 | 0 | 0 | 3,765 | | |
| | | 89～90P | | | | | | | 差引増減 | △ 3,484 | △ 277 | 0 | 0 | △ 3,207 | |
| | | 87P～ | ② 林業の振興 (産業建設課) | 森林経営管理制度の実施に伴う全体計画が策定され、所有者に対してアンケート実施や結果により現地調査をし、整備の検討を行う。 | ・予期していなかった年度途中での担当者の交代等により当初予定していた森林環境譲与税を活用した事業の一部しか実施できなかったが、森林の事前調査を行うことで次年度以降の整備に繋げることができた。 ・林業関係の協力隊員を1名確保できた。 | C | 他自治体の事例を参考にしながら、森林環境譲与税を効果的に活用した森林整備を推進し、木材の財産価値を高めるとともに、林業に携わる人材の育成を図っていく。 | 計画 | 16,900 | 0 | 0 | 0 | 16,900 | 0 | |
| | 実績 | | | | | | | 5,292 | 0 | 0 | 0 | 5,292 | 0 | | |
| | 91～92P | | | | | | | 差引増減 | △ 11,608 | 0 | 0 | 0 | △ 11,608 | 0 | |
| | 第3節 商工業の振興 | ① 商工業の活性化 (企画観光課) | ・空き店舗の利活用 ・新規創業者や商業活性化の核となる店舗の取組への支援 | 地域商工業の活性化を図る目的で、商工会と連携、活動を支援した。空き店舗活用について具体的な活動計画を構築するために、議論を進めている。 | D | 空き店舗活用のノウハウを蓄積するために、事例研究を行う。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 95～96P | | | | | | | 差引増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 93P～ | | ② 中小企業の経営支援 (企画観光課) | ・各種利子補給事業 ・事業所振興情報交換会による情報共有 ・町内事業者の事業継続支援策等の検討・実施 | 経済対策融資資金利子補給は19件の申請をいただいた。コロナ対応の利子補給からスムーズにシフトすることができ、資金繰りの面で、町内の商工業者を支援することができた。また、地域商工業の活性化を図る目的で、事業所振興情報交換会を9月、12月で実施。行政、金融機関、商工会、観光協会の4者で、松崎町の事業所の状況について情報共有を行い、事業継続等についても意見交換を行った。 | B | 利子補給で、中小企業の資金繰りを短期的に支えていくだけでなく、事業者が長期的に松崎町に残り続けるように事業承継の支援にも力を入れていく。 | 計画 | 3,368 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,368 | | |
| | 実績 | | | | | | 1,361 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,361 | | | |
| | 97～98P | | | | | | | 差引増減 | △ 2,007 | 0 | 0 | 0 | △ 2,007 | | |
| 99～100P | ③ 特産品の開発と活用 (企画観光課) | ・商工会商工業振興対策事業(「松崎ブランド」創出展開支援事業) ・商工会地域振興実現化事業(商工会女性部特産品開発事業) | 松崎ブランドについては、新たな認定商品として4品目を認定した(24事業所42品目)、WEBや展示会等により、認定商品の周知及び販売を行った。また、商工会女性部による特産品商品化され、「桜葉た〜ん」を河津さくら祭りでも販売を行い、大きな反響を得た。 | B | 開発した商品や、認定した松崎ブランド商品の販路開拓、広報の戦略レベルの研究と実践が必要。 | 計画 | 1,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,200 | | | |
| | | | | | | 実績 | 1,200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,200 | | | |
| | | | | | | 差引増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 第4節 新たな産業の振興 | ① 地域資源の保全と活用 (企画観光課) | ・棚田振興協議会の運営補助 ・棚田活用のイベント及び大学連携に対する補助 | 棚田保全については、担い手不足の課題はあるものの、田植え、稲刈り等の作業やオーナーの受け入れ、常葉大学との連携など予定していた事業を行い、関係人口の創出に取り組んだ。 | C | 高齢化に伴い担い手不足が大きな課題としてあり、国の交付金を活用して水位センサーや畦板の試験設置等により作業の効率化を図る。 | 計画 | 1,600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,600 | | | |
| | | | | | | 実績 | 2,920 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,920 | | | |
| | | | | | | 差引増減 | 1,320 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,320 | | | |
| | 101P～ | ② ワークーションの推進 (企画観光課) | ・コンソーシアム体制の構築 ・ワークーション推進計画の策定 ・ホームページの運営 ・町有施設の利活用・運営 ・町内外ネットワークの構築 | 県の補助金を活用して、ワークーション施設の修繕・備品購入等の施設整備を行い、受入れ施設の改善を図った。 | B | 県の補助金が令和5年度で終了したため、今後は、適正な施設管理や利用しやすい施設となるよう、施設の運営面の改善に取り組む。 | 計画 | 21,800 | 0 | 14,533 | 0 | 0 | 7,267 | | |
| | | | | | | | 実績 | 21,226 | 0 | 14,150 | 0 | 0 | 7,076 | | |
| | | | | | | | 差引増減 | △ 574 | 0 | △ 383 | 0 | 0 | △ 191 | | |
| 107～108P | ③ 新たな働き方の支援 (企画観光課) | 地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出する「特定地域づくり事業協同組合」の設立を支援する。 令和5年度は設立準備、令和6年度に設立を予定する。 | 静岡県と協力して特定地域づくり事業協同組合の勉強会(西伊豆町と合同・事業者向け勉強会)の開催など、事業についての理解及び周知を図った。 | B | 特定地域づくり事業協同組合については、中心となる人や企業・団体が必要であることなど、勉強会を通じて参加した事業所・団体から制度活用は難しいという声が多かった。中心となる人材の発掘・育成・制度周知は引き続き行いが、別の施策へシフトすることも検討していきたい。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | 差引増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |

第6次総合計画 実施計画 【令和5年度】事業評価一覧

「評価欄」この1年間の取り組みの評価（計画に掲げた施策（目標）に対して、この1年間でやるべきことができたかどうか）

A：目標を上回るものだった B：目標は達成できた C：目標は概ね達成できた D：目標に達しない取り組みが多かった E：ほとんど目標を達成できなかった

単位：千円

| 章 | 節 | 番号 | 主要施策名 | 事業概要 | この1年間でできたこと | 評価 | 今後の展開(力点) | 令和5年度事業費 | | 財源内訳 | | | | | |
|---------------------------------|-------------------|----------------------|--|--|--|--|---|---|---------|----------|--------|---------|---------|--------|-------|
| | | | | | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 町債 | その他 | 一般財源 | | | |
| IV 豊かな社会・自然環境を次代へつなぐ、持続可能なまちづくり | 第1節 環境保全と脱炭素社会の促進 | ① 111~112P | 景観づくりの推進 (企画観光課) | ・なまこ壁の建造物等の補助制度の創設。 ・なまこ壁を活かした景観づくりの推進(重点地区計画の策定・街なみ環境整備事業の実施・歴史的風致維持向上計画の策定) | ① 景観づくりの推進 ・景観計画に基づいた景観づくりの推進には取り組みなかった。 ・令和6年度からの民間のなまこ壁修繕への補助制度の準備を進めた。 ・花いっぱい運動での各種事業により、花と緑あふれる清潔な環境づくりを推進した。 | C | ・なまこ壁技術伝承事業を継続するとともに、景観計画や建築条例に基づく民間のなまこ壁修繕に対する補助事業を検討・実施する。 ・花いっぱい運動による各種事業を継続し、花と緑あふれる清潔な環境づくりを推進する。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 差引増減 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 109P~ | ② 113~114P | ごみ減量とリサイクルの促進 (生活環境課) | 広域ごみ処理施設の設置、管理及び運営 | ② ごみ減量とリサイクルの促進 ○ごみの分別や減量化について、広報紙などを通じて周知をしました。 ○リサイクルについては、雑紙の収集をはじめました。 ○下田市、南伊豆町、西伊豆町、松崎町の1市3町においては、人口減少等に伴うごみの減少により施設稼働率が低下していることに加え、いずれの施設も老朽化が進んでいることから、効率的で安定的なごみ処理体制を構築し、持続可能な適正処理を確保していくため、1市3町が一部事務組合を設立し、ごみ処理事業を広域化・集約化を進めています。 | B | 効率的で安定的なごみ処理体制について、検討を行っていない部分を速やかに調整していく。 | 計画 | 10,853 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10,853 | |
| | | | | | | | | 実績 | 8,673 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8,673 | |
| | 差引増減 | | | | | | | | △ 2,180 | 0 | 0 | 0 | △ 2,180 | | |
| | 第2節 文化財の保護と活用 | ①-1 117~118P | 文化財の保護・保存 (教育委員会) | 未指定文化財の調査・研究 | 文化財保護審議会委員を中心に、未指定文化財の調査研究に努めた。また、今後の推進体制や方針について協議を行った。 | D | 町内から持ち込まれた貴重な資料等が町史編纂室にあふれている。これらを紐解き整理することが急務である。 | 計画 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 | |
| | | | | | | | | 実績 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 差引増減 | | | | | | | | △ 100 | 0 | 0 | 0 | △ 100 | |
| | | 115P~ | ①-2 119~120P | 文化財の保護・保存 (企画観光課) | ・なまこ壁技術伝承事業 ・鏝絵のまち推進事業 ・フェスタ長八 ・長八作品保存業務 | 第23回全国漆喰鏝絵コンクール作品展では、応募作品の中から入賞作品15点を伊豆の長八美術館へ展示。また、佳作展を本年から同じ日程にて、民芸館2階で開催。期間入館者数増につながった。また、商店街の賑わいづくりを目的に、ロマンシール協同組合と松崎高校美術部の協力のもと、梅月園と白井呉服店の漆喰鏝絵看板を制作。また、なまこ壁技術伝承事業として、伊豆文部(母屋右側なまこ壁42㎡)のなまこ壁の修繕を行った。 | B | なまこ壁の施工・修繕を通じて、伝統的な技術の継承や景観整備を図るとともに、作業状況を見てもらうことにより、歴史的な価値を認識してもらうことができた。 なまこ壁を施工できる左官職人が限られ、技術者養成が急務である。 | 計画 | 6,790 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,790 |
| | | | | | | | | | 実績 | 2,703 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,703 |
| | 差引増減 | | | | | | | | △ 4,087 | 0 | 0 | 0 | △ 4,087 | | |
| | 121~122P | ②-1 121~122P | 文化財の活用 (教育委員会) | 重要文化財岩科学校維持管理耐震工事 | 県にアドバイスを求め、岩科学校耐震化に向けた準備を行った。 | D | 岩科学校の耐震化等整備方針の策定が急務である。また、建物が痛んでいる箇所も多く、全体的に修繕を行っていく必要がある。財源も含めて耐震化、修繕を計画する。 | 計画 | 2,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,000 | |
| | | | | | | | | 実績 | 1,170 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,170 | |
| 差引増減 | | | | | | | | △ 830 | 0 | 0 | 0 | △ 830 | | | |
| 123~124P | ②-2 123~124P | 文化財の活用 (企画観光課) | ・旧依田邸離れの一般公開 ・有料公開に向けての検討、調整 ・旧依田邸独自のお土産(特産物)の検討、商品化 | 依田邸文化財については、NPO法人伊豆学研究会に委託し、製織教室・作品展を開催した。その他、米織を活用した展示等を実施した。 | B | 旧依田邸でのワークショップ等の開催回数を増やすことにより、旧依田邸を訪れる人が増えるとともに、文化財の価値を認識し、保全への意識高揚を図りたい。 | 計画 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | | | | | | 実績 | 100 | 0 | 100 | 0 | 0 | 0 | | |
| 差引増減 | | | | | | | | 100 | 0 | 100 | 0 | 0 | | | |
| 第3節 文化活動の推進 | ① 127~128P | 芸術文化活動の推進 (教育委員会) | 補助金交付 芸術祭、芸術発表会 | コロナウイルス感染症が5類に移行したこと、文化協会を積極的に支援することに努めたことなどから、芸術祭では、昨年度をしのぐ296作品の出展があった。また、芸術発表会では、昨年の倍となる約400名の参加が見られた。生涯学習教室では、他課と連携し漆喰鏝手教室を実施した。 | A | 今後は文化協会員のリーダーシップによる生涯学習講座を企画するなど、文化協会のグレードアップを検討していきたいと考える。 | 計画 | 425 | 0 | 0 | 0 | 0 | 425 | | |
| 差引増減 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 第4節 上下水道と温泉の整備 | ① 131~132P | 水道事業の安定化 (生活環境課) | 経営戦略に基づき、施設の健全度を確保し、供給の安定化、経営の安定化を図る。 | 平成30年度に策定した「松崎町水道事業ビジョン・経営戦略」における投資計画や財政計画を見直し、経営状況の変化等を反映した「松崎町水道事業経営戦略改定版」を策定した。 | B | 水道料金の改定について、令和7年度当初からの新料金適用を目標に、公営企業委員会への諮問、議会への改定案の上げを行う。また、伏倉配水池の更新に向け、設計等を行っている。 | 計画 | 15,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15,000 | | |
| | | | | | | | 実績 | 42,051 | 0 | 0 | 0 | 27,940 | 14,111 | | |
| | 差引増減 | | | | | | | | 27,051 | 0 | 0 | 0 | 27,940 | △ 889 | |
| | 129P~ | ② 133~134P | 温泉事業の安定化 (生活環境課) | 経営戦略に基づき、施設の健全度を確保し、供給の安定化、経営の安定化を図る。 | 日常点検、定期的な保守点検による施設の健全度の確保を図った。また、温泉の魅力を発信するために温泉配遊事業を行っており、令和5年度は4軒に配達し、新聞報道により町営温泉を町内外に発信した。 | B | 日常点検や定期的な保守点検を欠かさずに行うことにより施設の健全度を確保し、今後も継続して温泉を安定的に供給するとともに、経営の安定化を図る。 | 計画 | 3,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,000 | |
| 実績 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| 差引増減 | | | | | | | | △ 3,000 | 0 | 0 | 0 | △ 3,000 | | | |
| 第5節 道路・交通網の整備 | ① 137~138P | 道路・橋梁の整備 (産業建設課) | 1地区の要望や道路・トロールに基づき町道の整備を推進 2伊豆縦貫自動車道や国道136号、県道下田松崎線、県道南伊豆松崎線などの国道・県道について、継続した改善要望活動を国や県に対し実施 3橋梁の長寿命化を図るため、点検補修を推進 | 地区要望に基づき町道根方線拡幅工事、建久寺2号線道路側溝設置工事、町道山口松尾線転落防止柵改修工事、町道浜丁川岸線転落防止柵設置工事を行った。 同じく地区要望に基づき町道管毛線舗装補修工事、町道内沢線兼用護岸改修工事、町道部築建久寺線兼用護岸改修工事を繰越工事にて発注した。 橋梁については、損傷補修工事を行い、宮沢橋の補修工事を繰越工事にて発注、26橋と1箇所点検を実施した。 伊豆縦貫道、国道道の整備促進について、国や県へ要望活動を実施した。 | B | 国道道、伊豆縦貫道の整備について、引き続き要望活動を実施していく。 地区要望に基づき、町道整備を引き続き進めていく。 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき点検修繕を進めていく。 | 計画 | 53,200 | 27,222 | 0 | 14,000 | 4,899 | 7,079 | | |
| | | | | | | | 実績 | 47,856 | 15,041 | 0 | 10,800 | 0 | 22,015 | | |
| | 差引増減 | | | | | | | | △ 5,344 | △ 12,181 | 0 | △ 3,200 | △ 4,899 | 14,936 | |
| | 135P~ | ② 139~140P | 公共交通の充実 (企画観光課) | ・自主運行バスの継続と精査 ・地域のニーズに合わせた新たな運行方法を検討するための実証実験、運行手段の確立 | デマンド型交通実証実験やグリーンズローモビリティや静岡県主導の自動運転実証実験を行い、実際の運行方法について研究した。 | C | 町の地域性にあった地域交通の充実に向けた対策を検討していく。 | 計画 | 37,993 | 0 | 9,000 | 0 | 0 | 28,993 | |
| 実績 | | | | | | | | 42,225 | 0 | 9,583 | 0 | 0 | 32,642 | | |
| 差引増減 | | | | | | | | 4,232 | 0 | 583 | 0 | 0 | 3,649 | | |

第6次総合計画 実施計画 【令和5年度】事業評価一覧

「評価欄」この1年間の取り組みの評価（計画に掲げた施策（目標）に対して、この1年間でやるべきことができたかどうか）

A：目標を上回るものだった B：目標は達成できた C：目標は概ね達成できた D：目標に達しない取り組みが多かった E：ほとんど目標を達成できなかった

単位：千円

| 章 | 節 | 番号 | 主要施策名 | 事業概要 | この1年間でできたこと | 評価 | 今後の展開(力点) | 令和5年度事業費 | | 財源内訳 | | | | |
|-------------------|------------------------|--|--|--|---|--|--|----------|---------|-------|-------|-------|---------|---------|
| | | | | | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 町債 | その他 | 一般財源 | | |
| V | 第1節 行政のデザイン | ① 143~144P | 職員の資質向上 (総務課) | 職員の目標・活動・組織・待遇の魅力を向上させるための調査・分析・施策提案等を委託するとともに、町村会が主催する各種の研修会に参加することによる計画的なキャリアマネージメントにより高い専門性と創造性を身につけ政策課題にあたる。 | 人材育成支援事業により、職員の労働生産性の向上、メンタルヘルスの改善、職員の定着等につなげることを目的とし、現状分析、課題抽出のためアンケートを実施した。また、係長以上の職員を対象にその改善対策のための研修会を行った。 町村会等が主催する各種研修会に延べ20名参加し、職員の資質向上につながった。 | C | 引き続き、研修の継続や各種研修への参加により、職員のモチベーションや資質の向上を図る。 | 計画 | 7,062 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,062 |
| | | | | | | | | 実績 | 7,062 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7,062 |
| | | | | | | | | 差引増減 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 第2節 地域のガバナンスときょうどう | ① 147~148P | コミュニティの再構築 (企画観光課) | ・各地区への支援(原材料支給、自治会保険、公民館改修) ・地区コミュニティの活性化、再構築に向けた新たな取り組みの検討 | 各地区の施設修繕などの助成を実施。地域のイベント(岩科重文まつりや中川三聖まつり)の継続などについて、各地区と協議を行った。 | B | 引き続き各地区への助成事業を継続する。中川三聖まつりはイベントの廃止が決定した。岩科重文まつりは令和6年度への継続協議となった。中川地区については有志によるイベントが行われており、町としても協力していく。 | 計画 | 2,923 | 0 | 0 | 0 | 1,333 | 1,590 |
| | | | | | | | | 実績 | 1,086 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,086 |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 1,837 | 0 | 0 | 0 | △ 1,333 | △ 504 |
| | | ② 149~150P | 住民参画の促進 (企画観光課) | ・花いっぱい運動の推進 ・コミュニティ活動に対する助成の拡大 ・町政懇談会の開催 | コミュニティ団体への助成事業は、初めて年度で3団体の活用があった。地区(4地区)毎の町政懇談会を開催し、コンパッションタウンに係るワークショップなども開催した。 | B | コミュニティ団体への助成は引き続き積極的な周知に努める。コンパッションのまちづくりに向けて、学びの機会やまちづくりへ繋がる体制づくりを進めていきたい。 | 計画 | 22,960 | 0 | 202 | 0 | 1,429 | 21,329 |
| | | | | | | | | 実績 | 16,341 | 0 | 0 | 0 | 332 | 16,009 |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 6,619 | 0 | △ 202 | 0 | △ 1,097 | △ 5,320 |
| | 第3節 スマート自治体・デジタル化の推進 | ① 153~154P | デジタル化の普及促進 (企画観光課) | 社会全体でスマートフォンやインターネットなどによる情報化社会への進展が加速化しており、時代の流れに則した情報通信メディアの普及を促進します。 具体的にはデジタルペイド対策として、スマートフォンの購入費用助成や利用講座を実施します。 SNSを活用した情報発信などを検討します。 | スマートフォンの助成事業は制度を創設し12件の申請があったが、スマートフォン講座は実施に至らなかった。 | C | スマートフォンの購入費助成については、引き続き周知に努める。スマートフォン講座は自前での講座実施も含めて検討していく。ホームページの改善やSNSを活用した情報発信について取り組んでいく。 | 計画 | 800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 800 |
| | | | | | | | | 実績 | 119 | 0 | 0 | 0 | 0 | 119 |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 681 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 681 |
| | | ②-1 155~156P | 効率的な行政事務の推進 (企画観光課) | ・基幹システムの標準化 ・電子申請システムの活用 ・電子決済の推進 ・ICT活用人材の育成 | ・標準標準システムへの移行準備、標準システムとの再分析や文字同定準備 ・メールサーバ、アクティブディレクトリの機器更改 ・情報資産管理システムの効率的運用 ・メールサーバ更改に伴うメールシステムの変更 | B | 電子申請システムを利用した申請における申請書様式の作成と、電子申請利用開始に向けた庁舎内体制の整備を行う必要がある。 Windows11やインターネット仮想化に対応するための端末管理や更新、セキュリティサポートを施し、職員が効率的かつ快適に業務を行えるよう整備していく。 | 計画 | 58,599 | 2,662 | 0 | 0 | 84 | 55,853 |
| | | | | | | | | 実績 | 58,137 | 2,662 | 0 | 0 | 87 | 55,388 |
| | | | | | | | | 差引増減 | △ 462 | 0 | 0 | 0 | 3 | △ 465 |
| ②-2 157~158P | 効率的な行政事務の推進 (窓口税務課) | ・マイナンバーカード申請受付の休日・夜間の窓口開設、個人宅・企業への出張申請受付の実施、広報チラシの配布等を行う。 ・住民票の写し、印鑑登録証明書のコンビニ交付 ・引越しワンストップサービスの導入 | ・休日窓口を6日開設した。 ・広報まつさきやのぼり旗などによりマイナンバーカード取得推進のPRを行った。 | B | 保険証の一本化に伴い関係課と連携を図りPRすると共に、休日窓口開設などを実施し更に交付率を伸ばしていく。 | 計画 | 5,037 | 2,247 | 0 | 0 | 1,395 | 1,395 | | |
| | | | | | | 実績 | 5,422 | 2,623 | 0 | 0 | 1,399 | 1,400 | | |
| | | | | | | 差引増減 | 385 | 376 | 0 | 0 | 4 | 5 | | |
| 第4節 広域行政・地域間交流の推進 | ① 161~162P | 広域連携の推進 (企画観光課) | ・広域連携需要にあった施策を精査し、賀茂地域広域連携会議での検討を継続していきます。 ・現状の消費者行政、滞納整理、指導主事の共同設置などに続く、事務の共同化の検討を進めます。 | ・ごみ焼却施設の共同整備などが進められている。 ・賀茂地域広域連携会議や伊豆半島7市6町首長会議で諸問題に対する広域対応について協議している。 | B | 引き続き広域対応について検討・協議していく。特に広域連携会議では「地域の未来予測」の作成に取り組む予定。また7市6町首長会議においては能登半島の地震災害を教訓に防災対策の広域対応について協議していく。 | 計画 | 5,676 | 0 | 181 | 0 | 0 | 5,495 | |
| | | | | | | | 実績 | 6,354 | 0 | 324 | 0 | 0 | 6,030 | |
| | | | | | | | 差引増減 | 678 | 0 | 143 | 0 | 0 | 535 | |
| 第5節 新たな人の流れの創出 | ① 165~166P | 関係人口の拡大 (企画観光課) | ・「日本で最も美しい村」連合サポーター企業や加盟町村、新たな地域との交流、連携の構築 ・大学生の自然体験、ボランティア活動、インターンシップの受け入れなど、大学との連携事業の推進 ・石部欄田オーナーを代表とする自然資源を活かした体験やワーケーション事業と連動したコアファン創出 | ① 関係人口の拡大 ・美しい村DAOを通じて松崎町オリジナルのNTFを販売したり、ワーケーション事業と連携したツアーを実施するなど、新たな関係人口を創出に努めた。 ・R5年度から企業販ふるさと納税を開始し、4件の寄附実績があった。 ・連携協定を締結した静岡大学を始めとした大学生のFWを受け入れ、また、連携協定を締結した大学の受け入れ体制整備を行い、大学との連携事業を推進した。 | B | 大学連携については、他自治体で実施している旅費の補助制度など受け入れ体制を強化するなど、大学との連携を推進する。また、令和6年度は新たに一般社団法人コレラガと連携して、大学生による地域課題解決のフィールドワークを受け入れる。 | 計画 | 1,635 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,635 | |
| | | | | | | | 実績 | 1,606 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,606 | |
| | | | | | | | 差引増減 | △ 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 29 | |
| | ② 167~168P | 移住・定住の推進 (企画観光課) | ・空き家バンク制度や空き家改修補助による住まいの確保 ・起業支援助成や就業の情報提供による移住サポート ・移住者受入体制の構築(暮らしの情報発信、移住相談、移住後のサポートなど) | ② 移住・定住の推進 ・空き家改修等補助などの補助事業を行うとともに、移住定住促進協議会に移住相談等の受入業務を委託し、移住・定住を促進した。令和5年度から新たな補助事業として、移住希望者潜在補助事業を開始した。 | B | 協議会への委託により相談体制の強化や情報発信、空き家対策等を実施していく。また、町内に空き家は多く見られるが、空き家情報バンクへの登録件数が多くないため、登録件数を増やしていく。 | 計画 | 10,246 | 0 | 2,250 | 0 | 1,958 | 6,038 | |
| | | | | | | | 実績 | 9,117 | 0 | 1,950 | 0 | 1,958 | 5,209 | |
| | | | | | | | 差引増減 | △ 1,129 | 0 | △ 300 | 0 | 0 | △ 829 | |

第6次総合計画 実施計画 【令和5年度】目標指標実績値一覧

| 施策コード | ■□目標指標□■ | 単位 | 現状値 | 各年度の実績値 | | | | | 目標値 | 指標実績に係る評価等 | 担当課 | |
|-------|----------|----------------------|-----|---------|--------|-------|-------|-------|-------|------------|---|-------|
| | | | | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和9年度 | | | |
| 1 | I - 1 | 災害協定・覚書件数 | 件 | 40 | 47 | | | | | 45 | R9年度の目標値は超えているが、様々な業務等で関係機関と連携強化を図っていく必要がある。また、協定を結んだだけにならないよう、平時でも協力できる体制を築いていきたい。 | 総務課 |
| 2 | I - 1 | 津波避難タワーの整備 | 基 | 1 | 1 | | | | | 2 | R5年度に動き始めたばかりであるため、R6年度以降は計画的に事業を進めていきたい。 | 総務課 |
| 3 | I - 2 | 火災発生件数 | 件 | 0 | 1 | | | | | 0 | R5年度は1件建物火災が発生してしまいました。人的被害はありませんでしたが、今後も火災予防を呼びかけていきます。 | 総務課 |
| 4 | I - 3 | 地区サロン・通いの場 | 地区 | 9 | 10 | | | | | 10 | 既存サロンの活動支援、参加の促進が増加につながったものとする。 | 健康福祉課 |
| 5 | I - 4 | 要介護（要支援）者数 | 人 | 558 | 517 | | | | | 550 | 認定者の死亡が認定者数減少の大きな原因の1つになっている。介護予防、重症化防止に取り組んでいく。 | 健康福祉課 |
| 6 | I - 5 | 地域生活への移行による施設入所者数 | 人 | 11 | 10 | | | | | 10 | 令和5年度における施設入所者1名の減については、施設入所から入院となったものであるが、令和5年度において病院から地域移行支援によって1名退院となったことは評価できると考える。 | 健康福祉課 |
| 7 | I - 6 | 健康長寿県内順位（お達者度）男性 | 位 | 30 | 28 | | | | | 28 | 事業の見直しを行いながら、より現状や課題に沿った施策を推進していく必要がある。 | 健康福祉課 |
| 8 | I - 6 | 健康長寿県内順位（お達者度）女性 | 位 | 31 | 25 | | | | | 29 | 事業の見直しを行いながら、より現状や課題に沿った施策を推進していく必要がある。 | 健康福祉課 |
| 9 | I - 7 | 町の委員会などに占める女性委員の構成割合 | % | 21 | 22 | | | | | 25 | 今後も取組みを継続していきたい | 教育委員会 |
| 10 | II - 1 | 年間出生数 | 人 | 14 | 10 | | | | | 17 | 各種施策に取り組んだが、結果として目標達成には至らなかった。引き続き取り組むとともに出生に繋がるべく出会いの創出にも取り組む必要があると考える。 | 健康福祉課 |
| 11 | II - 2 | 青少年活動の団体数 | 団体 | 7 | 8 | | | | | 10 | 例年と変わらない活動は行えたが、マンネリ化が見られるため何らかの改善策を検討したい。 | 教育委員会 |
| 12 | II - 3 | 家庭教育学級の開催数 | 回 | 3 | 3 | | | | | 5 | 令和5年度は、例年並みの内容にとどまった、来年度以降はより活性化させていきたい。 | 教育委員会 |
| 13 | II - 4 | 外部講師の人数 | 人 | 5 | 13 | | | | | 25 | 目標は達成でき、地域に誇りと愛着を持つ子ども達の育成に繋がっている。 | 教育委員会 |
| 14 | II - 5 | 生涯学習講座開設数 | 講座 | 8 | 6 | | | | | 10 | 例年並みの取組みとなった | 教育委員会 |
| 15 | II - 6 | 松崎町体育協会の加盟団体数 | 団体 | 7 | 6 | | | | | 8 | 各構成団体とも、参加者の維持が大きな課題となっている。 | 教育委員会 |
| 16 | III - 1 | 体験型観光事業数 | 事業 | 28 | 28 | | | | | 32 | 入れ替わりが多いが、事業数は維持されている。 | 企画観光課 |
| 17 | III - 1 | スポーツ型観光人数 | 人 | 11,529 | 10,889 | | | | | 15,000 | シーカヤックマラソンが中止と台風の影響で激減となった。コロナの影響がなくなった来年度は、真価が問われる。 | 企画観光課 |

第6次総合計画 実施計画 【令和5年度】目標指標実績値一覧

| 施策コード | ■□目標指標□■ | 単位 | 現状値 | 各年度の実績値 | | | | | 目標値 | 指標実績に係る評価等 | 担当課 |
|-------|----------|--------------------------|-----|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--|-------|
| | | | | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和9年度 | | |
| 18 | Ⅲ - 2 | 新規就農者・農業後継者（累計） | 人 | 3 | 4 | | | | 5 | 今後の経営計画を持った就農者を育成できている。 | 産業建設課 |
| 19 | Ⅲ - 2 | 認定農業者（累計） | 人 | 14 | 13 | | | | 17 | 既存の認定者が高齢化しており、経営意欲のある就農者を認定者に育成していく必要がある。 | 産業建設課 |
| 20 | Ⅲ - 3 | 商工業者数 | 人 | 463 | 464 | | | | 463 | 高齢化・人口減少の中、現状維持できていることは評価できる。 | 企画観光課 |
| 21 | Ⅲ - 4 | 新規起業件数 | 件 | 3 | 0 | | | | 5 | 町補助金を活用した検討者は数名いたが、準備が間に合わない等の理由により、翌年度に持ち越しとなった。実績としては0件であるが、相談対応に取り組んだ。 | 企画観光課 |
| 22 | Ⅳ - 1 | 資源化率 | % | 15.6 | 15.9 | | | | 16.4 | 雑紙収集（R5年度9.8t収集）やリサイクルの広報により、リサイクル率が増加した。 | 生活環境課 |
| 23 | Ⅳ - 2 | 旧依田邸の入場者数 | 人 | 3,937 | 4,162 | | | | 6,000 | コロナ禍後、徐々に客足が戻り始めた。ワークショップなど参加型文化イベントを実施することにより、集客を図りたい。 | 企画観光課 |
| 24 | Ⅳ - 3 | 文化協会加盟団体数 | 団体 | 12 | 12 | | | | 15 | 活動団体数の変化はなかった。 | 教育委員会 |
| 25 | Ⅳ - 3 | 町民一人当たりの貸出冊数 | 冊/年 | 3 | 4 | | | | 5 | 貸出総数は減った者の一人あたり冊数は増加傾向にある。 | 教育委員会 |
| 26 | Ⅳ - 4 | 合併処理浄化槽設置補助基数（累計） | 基 | 616 | 621 | | | | 716 | 投資計画等を見直した経営戦略改定版を策定し、健全運営のため必要な料金改定率等の検討を行った。 施設については日常的な点検により健全度が保たれている。 | 生活環境課 |
| 27 | Ⅳ - 5 | 町道橋梁の耐震化の整備（累計） | 橋 | 16 | 0 | | | | 30 | 橋梁点検に基づく補修工事が多く、耐震化まで着手できていない。 | 産業建設課 |
| 28 | Ⅴ - 1 | 経常収支比率 | % | 86 | 86.3 | | | | 83 | 例年上昇傾向にあった数値が、新型コロナウイルス感染症対策における国等の様々な施策（補助金）対応により一時的に改善がされていたが、5年度にはコロナ前（86.1%）と同様になった。 | 総務課 |
| 29 | Ⅴ - 2 | まちづくり活動支援補助金申請件数 | 件 | 0 | 3 | | | | 2 | 広報などによる周知と2030松崎プロジェクトのチームなどへの周知により実績を上げることができた。引き続き周知に努め、活動支援を積極的に行う。 | 企画観光課 |
| 30 | Ⅴ - 3 | マイナンバーカード交付率 | % | 58.9 | 85.4 | | | | 75.0 | PRや休日窓口の開設の成果もあり、令和5年度で目標値はクリアした。 | 窓口税務課 |
| 31 | Ⅴ - 3 | スマートフォン利用率 | % | 72.0 | - | | | | 85.0 | 現状値は総合計画策定時の住民アンケートの結果に基づくもので、毎年度の実績値は出すことができない。後期基本計画の策定時のアンケート結果で5年後実績値を調査する予定。 | 企画観光課 |
| 32 | Ⅴ - 4 | 広域的共同事務数 | 件 | 3 | 3 | | | | 4 | 広域的共同事務数の増減は無いが、教育委員会の共同設置について部会で検討が進められている。 | 企画観光課 |
| 33 | Ⅴ - 5 | 移住相談件数 | 件 | 101 | 67 | | | | 150 | 移住相談の件数は少ないが、受入れのため新たな補助制度の創設や協議会の活発な活動により、今後に生かせる事業を実施できた。 | 企画観光課 |
| 34 | Ⅴ - 5 | フィールドワーク等により松崎町を訪れる大学生の数 | 人 | 284 | 320 | | | | 350 | 5月に新型コロナが感染症法の5類に移行し、大学のFW受入れを以前のように実施できるようになり、大学との連携事業を推進できた。 | 企画観光課 |